

アフガニスタンに関する IFSW の声明 -人道的危機を越えて-

2021年8月25日 トピック

ここ数週間の間にはアフガニスタンの情勢は急激に変動した。アフガニスタンにとどまる人や、国を脱出せざるを得ない人や脱出を望む人のすべてにとって不確かな状況が起こり、それが続いている。女性や少女らの権利と尊厳に関する恐怖が国際的に共有されている。われわれの世界共通の倫理原則には、いかなる人も平等であり、自分の生活に関係するあらゆる事柄に参加する権利を有するという認識が含まれている。

世界の指導者たちは人道的被害を防ぐために団結する道を模索している。国境を越える人に影響を及ぼし統制を加えようと試みてきた異なる政治的哲学をもつその政府が、すべての人の尊厳と多様性を尊重する過程に参加することが求められている。その一方で、われわれは人道的危機に反応することが国際的に必要であることを認識している。これは単にすべての人を配慮した協力と理解を可能にする長期的な解決方法をつくることだけでは不十分である。

アフガニスタンの葛藤は数十年に及ぶものである。世界の他の地域においても世代間のトラウマが地域社会の広範囲に及ぶ破壊をもたらしている。尊厳をもって生活するすべての人の権利を守るために地域社会と様々な関係者は協力して働かなければならない。

ソーシャルワーカーとしてのわれわれの知見は、葛藤や弾圧やトラウマにある人々との実践の中に含まれている。これらのスキルは今後、何週間、何か月、何年間にもわたり、葛藤を逃れて安全を求める人だけでなく、受け入れ国にとっても必要とされものである。なぜならば彼らの旅路にはたくさんの生活の変化が伴うからである。

IFSW は緊急または長期的なニーズに対応するために最前線で活動している仲間たちを支援する。さらにわれわれは直接交渉に当たっている国際機関のリーダーや、持続的な平和的解決を見出すための資源に影響をもちうる人への支援も行う。

これらの過程には、人々が葛藤状況から安全に離れる権利、安全と保障が感じられるようになったときに自分の国に帰還して尊厳ある生活を再建する権利、女性が男性と並んで自由に安全に生活する権利、政府と市民社会によって、すべての人の将来の多様性が尊重される権利が含まれる。

『「一人も置き去りにしない」新エコ社会世界の共同建設を』という民衆サミットのビジョンをもって活動に参加しよう。